ラジオ収録原稿

|  |  |
| --- | --- |
| 番組進行 | 大きいサイズのデザイナーズハット　帽子屋ポピンズ |
| 本日は、京都市から大きいサイズのデザイナーズハット　帽子屋ポピンズのさんにお越しいただきました。 | こんにちは。帽子屋ポピンズの三角と申します。 |
| さんは帽子屋を始める前に京都府男女共同参画センターの女性のための起業セミナーに行かれていたとお聞きしています。 | はい、10年前になります。京都市南区の京都テルサにて毎週水曜日に20人ほどが集まって3カ月くらいの講義を受けました。 |
| どんなご感想を持たれましたか？ | 一番印象に残っているのは自分のビジネスについて人前で何度もプレゼンテーションをしたことです。  そのたびに内容の練り直しの連続でした。  どうしてこんな苦労をしなきゃいけないのかとその時は思っていましたが、今ならわかります。たとえばチラシやキャッチコピーを作るときに、自分のやっていることや言いたいことを簡潔にまとめる力が付いたと思っています。 |
| 起業セミナーが良いきっかけとなり、そこでのいろいろな苦労も実を結んだのですね。それでは、早速ですが、さんの活動についてお聞かせください。 | はい、大きいサイズのデザイナーズハットのオンラインショップをやっています。そこでは私が作った帽子の他、ハットデザイナーさんに大きいサイズの帽子を作っていただいています。市販の帽子よりちょっと個性的で、しかもいろんなスタイルに合わせやすい帽子を扱っています。  似合う帽子のアドバイスや、帽子選びに関するイベントなどもしています。 |
| 大きいサイズ、ですか？大きいサイズって一体どのくらいなんでしょう？ | 市販の帽子は標準サイズというのがありまして、女性だと57か57.5センチなんです。  それより大きい、大体59センチ以上のものを“大きいサイズ”と呼ぶことにしています。 |
| ということはニッチな市場を狙っている、ということなんですね？ | いえいえ、それがそうニッチでもなかったんですよ。  私は1000人以上の大人の女性の頭のサイズを測ってきたのですが、驚いたことに女性の3分の１は頭が大きいカテゴリに属することが分かりました。  実は私自身が頭が大きくて入る帽子がなかったのがきっかけで、帽子の学校に行き始めました。学校では私以外はみんな標準か標準より小さい頭の人だったので自分は少数派なんだと思っていました。ところが、京都に来てから手作り市などで帽子を売っていると、大きいサイズのものが思ったより売れたんです。  そこで「女性の頭のサイズの標準は57cmくらい」、というのは本当なんだろうか、と好奇心がわいてきました。ということで2011年に頭のサイズの調査を始めました。  ちょうど起業セミナーに行きはじめたころのことです。 |
| それで、結果はどうだったのですか？ | 今まで女性で1000人以上を調べましたが、たしかに平均は57.5cmくらいでした。  でもそれより小さい人も大きい人も意外に多くて、人数にするとほぼ1:1:1でした。 |
| ということはそこまでニッチな市場ではなかったということですね？ | はい。女性でいうと3人に1人が市販の帽子が小さいと感じていることになります。  数としては多いのですが、そういう方たちは私と同様、サイズがネックで、今まで帽子をかぶったことがないとか、帽子屋さんが超ニガテ、という場合が多いのです。そんな方たちにどのようにして帽子の面白さを伝えていくかが難しくもあり楽しいところでもあります。 |
| 先ほど似合う帽子のアドバイスもしているとおっしゃっていましたが、頭が大きい方にアドバイスをしているということなのですか？ | いいえ。  サイズの調査のときに帽子に関してのお困りなども自由に語ってもらいました。  すると、サイズに関係なく、「帽子が似合わない」、という訴えがとても多かったんです。  なのでどなたにでもアドバイスしています。 |
| 例えば、どのようにアドバイスをされていますか？ | 顔型別に似合う形の帽子を選ぶのが一般的なやり方だと思うのですが「形」だけで帽子を選ぶと例外がとても多くなってしまうんです。  なのでオリジナルの帽子選びのチャートを作りました。  その方の身長と体の幅をまずザックリとらえます。それからその方がどんな色や素材が似合うのかを見ていってその方がチャートのどの辺にいるのかを見ます。そして、帽子の方も形・色・素材・かざりの４つの要素に分解して考えてチャートに当てはめ、一致するところの帽子をおすすめします。  このやり方だと似合わないはずの形の帽子でも、色や素材で補ったり、その人らしい飾りを付けたりして似合うようにすることもできるんです。そうなると帽子選びが楽で豊かになります。  オーダーの場合はお客さまを見て自由に帽子をデザインできるので楽しいんですよ。 |
| 面白いですね。ちなみにですがどんな人にでも似合う帽子、というのはあるんでしょうか？ | どんな人にでも必ず似合う、という帽子はないのですがたくさんの人に似合う帽子、というのはあります。それは形がはっきりしていない帽子です。ハッキリした形がなくて、しかもおしゃれに見える帽子というのは誰にでも似合いやすくてとても役に立ちます。  帽子が似合わない、とおっしゃる方にはまずはじめにそんな帽子をおすすめしています。 |
| 帽子に興味がわいてくるお話でしたね。 | はい、しゃべりだしたら止まりません。 |
| 最近は若い方を中心に帽子人口が増えてきている気がしますが。 | ずっと前からそう言われ続けていますね（笑）。でもいつもそこまでブームにはなっていない気がします。  帽子が人気がない理由の一つはたぶん、帽子をかぶると多少なりとも蒸れるからなのだと思います。ちなみに自分より小さいサイズの帽子をかぶることも、蒸れやかゆみの原因になっているんですよ。なのでピッタリサイズの帽子をかぶることはとても大切なんです。  日焼け防止はもちろんですが、これからは熱中症予防や目や頭皮を守るためにも、また日傘で手がふさがるよりは安全のためにも帽子をおすすめします。  帽子をかぶりたいのにサイズがない、とか似合う帽子がわからないので帽子が楽しめない、というのはもったいないです。  そんな方のお役に立てるよう活動していきたいと思います。 |
| 本日は大きいサイズのデザイナーズハット　帽子屋ポピンズのさんにお越しいただきました。  ありがとうございました。 | こちらこそありがとうございました。 |
| 女性のためのらら京都創業スクールは、  １０月３０日から１１月２７日までの土曜日、５回の開催を予定しています。  お問い合わせは、京都府男女共同参画センターのホームページか、電話０７５－６９２－３４３３までお願いします。 |  |